

国語科学習指導案

1. 単元名と目標

3年 五 心の通い合いを読もう「おにたのぼうし」 あまんきみこ 作

～場面の移り変わりをとらえながら読み、情景や人物の気持ちを想像する

4年 五 心の通い合いを読もう「ごんぎつね」 新美南吉 作

～場面の移り変わりをとらえながら読み、情景や人物の気持ちを想像したり、自分の感想をもつ

2. 単元について

3年生の教材「おにたのぼうし」には、病気の母を気遣う「女の子」に、ごちそうで報いようとする、「おにた」の優しさが描かれている。しかし、その思いは報いられず、「ぼうし」と「黒豆」を残して、「おにた」は忽然と消えてしまう。ファンタスティックな物語ではあるが、「おにた」と「女の子」の優しさ、人間と鬼という住む世界の違いから、お互いに理解し合えない悲しさも表現されている。

3年生では、仮説1に関わる「想像、思考に向けての手だて」として、登場人物の行動や、場面を彩る色彩などに注目させながら、丁寧に読み味わい、心情や情景を実感させたり、とらえさせたい。

4年生の教材「ごんぎつね」では、いたずら好きのきつね「ごん」が、独りぼっちになってしまった「兵十」に同情し、ひたむきに行動するも、人間である「兵十」に理解してもらえず、火縄銃で撃たれてしまう。そこで初めてお互いのことを理解し合うという悲しさとともに、心の通い合いの大切さを読み手に訴えてくる。

4年生でも、人物の気持ちや行動を表す表現に注意を向けながら、物語の世界に思いをめぐらせることをねらいたい。仮説1に関わる「想像、思考に向けての手だて」としては物語についての初発の感想をもとに、叙述に即して、自分の実生活とを結びつけるなどしながら、感想や意見を持たせたい。

3. 児童の実態

(略)

4. 単元全体の指導計画

(3年生)8時間扱い

時	目標と評価規準
1	初発の感想を書き、場面ごとの学習のめあてをもつ。 (関心・意欲・態度) 物語に関心をもち、学習に取り組もうとしている(観察) (書く) 初発の感想を自分の言葉で書く(ノート)
2	新出漢字について読み方、筆順、使い方を練習する。 (言語事項) 新出漢字の読み方、筆順、使い方を理解している(ドリル、ノート)
3	節分の夜、物置小屋の天井から出ていくおにたの様子と気持ちを読み取る。 (関心・意欲・態度) 進んで音読したり読み取ろうとしている(観察) (読む) おにたの様子や気持ちがわかる場所を見つけ、それをもとに考えている(ノート)
4	雪が降る中、隠れ場所を見つけようとするおにたの様子と気持ちを読み取る。 (関心・意欲・態度) 進んで音読したり読み取ろうとしている(観察) (読む) おにたの様子や気持ちがわかる場所を見つけ、それをもとに考えている(ノート)
5 (本時)	女の子と母親の姿や、それを見るおにたの様子や気持ちを読み取る。 (関心・意欲・態度) 進んで音読したり読み取ろうとしている(観察) (読む) 女の子の様子や気持ち、おにたの様子や気持ちがわかる場所を見つけ、

	それをもとに考えている。(ノート)
6	ごちそうを届けた時のおにたと、にこっと笑った女の子の気持ちを読み取る。 (関心・意欲・態度) 進んで音読したり読み取ろうとしている(観察) (読む) 女の子の様子や気持ち、おにたの様子や気持ちが変わるところを見つけ、 それをもとに考えている。(ノート)
7	黒い豆を残して消えてしまったおにたや、残された女の子の気持ちを読み取る。 (関心・意欲・態度) 進んで音読したり読み取ろうとしている(観察) (読む) 女の子の様子や気持ち、おにたの様子や気持ちが変わるところを見つけ、 それをもとに考えている。(ノート)
8	おにたに対する気持ちを知らせる手紙を書く (関心・意欲・態度) 進んで自分の気持ちを書き表そうとする(観察) (書く) おにたにたいする気持ちを手紙に書き表すことができる。(手紙)

(4年生)9時間扱い

時	目標と評価規準
1	初発の感想を書き、場面ごとの学習のめあてをもつ。 (関心・意欲・態度) 物語に関心を持ち、学習に取り組もうとしている(観察) (書く) 初発の感想を自分の言葉で書く(ノート)
2	新出漢字について読み方、筆順、使い方を練習する。 (言語事項) 新出漢字の読み方、筆順、使い方を理解している(ドリル、ノート)
3	ごんの境遇と暮らしぶりを読み取る。 (関心・意欲・態度) 進んで音読したり読み取ろうとしている(観察) (読む) どんなきつねかわかる所を見つけ、それをもとに考えている(ノート)
4	兵十の様子や情景、ごんのいたずらの様子や心情を読み取る。 (関心・意欲・態度) 進んで音読したり読み取ろうとしている(観察) (読む) 場面や登場人物の様子をとらえたり、様子をもとにごんの心情を考えている(ノート)
5	兵十の家の葬式の様子を見た日のごんの様子と、後悔の気持ちを読み取る。 (関心・意欲・態度) 進んで音読したり読み取ろうとしている(観察) (読む) ごんの見た情景や、ごんの様子をもとにごんの心情を考えている(ノート)
6 (本時)	つぐないをするごんの様子と気持ちを読み取る。 (関心・意欲・態度) 進んで音読したり読み取ろうとしている(観察) (読む) 場面や登場人物の様子をとらえたり、様子をもとにごんの心情を考えている(ノート)
7	「月のいいばん」の情景や、ごんの気持ちを読み取る。 (関心・意欲・態度) 進んで音読したり読み取ろうとしている(観察) (読む) 場面や登場人物の様子をとらえたり、様子をもとにごんの心情を考えている(ノート)
8	兵十に撃たれてしまったごんと、ごんを撃ってしまった兵十の気持ちを読み取る (関心・意欲・態度) 進んで音読したり読み取ろうとしている(観察) (読む) 場面や登場人物の様子をとらえたり、様子をもとに兵十やごんの心情を考えている(ノート)
9	心を動かされた場面を中心に、学習後の自分の感想をまとめる (関心・意欲・態度) これまでの学習をふりかえり、進んで自分の感想をまとめようとしている(観察) (書く) 心をうごかされたことを中心に、自分の感想をまとめる(ノート)

5. 本時の目標

3年生 女の子と母親の姿やそれを見るおにたの様子や気持ちを読み取る

4年生 つぐないをするごんの様子や気持ちを読み取る

6. 本時の活動(3年生 5/8 4年生 6/9) ☆～教師の関わり

段階	3年生の活動・評価規準	わたり	4年生の活動・評価規準	段階
つかむ	<ul style="list-style-type: none"> ・前の段落についてふり返る ～雪が降る中、おにたは、隠れる家をさがしていた ～でこぼこしたせんめんきを持った女の子の家にいった 		<ul style="list-style-type: none"> ・前の段落についてふり返る ～兵十のおっかあが死んでしまった ～ごん「あんないたずらをしなげりや・・・」と考えた 	つかむ
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 3だんらくのおにたや女の子の様子と気持ちを読み取ろう。 </div>		<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 3だんらくのごんの様子と気持ちを読み取ろう。 </div>	
よみとめる	<ul style="list-style-type: none"> ・課題をノートに書く ・音読をする ☆うすいふとん、雪で冷やしたタオルから女の子の家の貧しさを考えさせる ・女の子がはっとしてくちびるをかんだのはどうしてか考えてノートに書く ～おなかはずいいているが、本当のことは言えないと思ったから ・～お母さんに心配かけたくないから ☆「あのねえ・・・」や長いため息をついているところから女の子が本当のことを言っていないようだということを補足する。 		<ul style="list-style-type: none"> ・課題をノートに書く ・音読をする (3段落最初～p85 4行目) ・「おれと同じ、ひとりぼっちの兵十か。」のあとには、ごんのどのような言葉が続くか考え、ノートに書き、板書して話し合う。 ～悪いことをしてしまったなあ ～謝りたいけどどうやったらわかってもらえるかなあ ～これからは、兵十と仲良くしたいなあ 	よみとめる
まとめ	<ul style="list-style-type: none"> ・おにたの様子を表す言葉にサイドラインを引く (時間があればノートに書く) ～せなかがむずむず ～じっとしてられなく ～もうむちゅうで ～寒い外へとび出して ☆落ち着かない様子を一緒に動作化する 			<ul style="list-style-type: none"> ・言葉の続きを思うごんの気持ちが表れるよう、感情をこめて音読をする ☆読み方を聞き、より感情が表現できるようにアドバイスする (関) 進んで音読したり読み取ろうとしている (観察) (読) 場面や登場人物の様子をとらえたり、様子をもとにごんの心情を考えている (ノート)
	<ul style="list-style-type: none"> ・こんな様子のおにたは何を考えているのか、ノートに書く ～早く何とかしなきゃ ～急いで食べ物を探してこよう (読) 女の子の様子や気持ち、おにたの様子や気持ちがわかる場所を見つけ、それをもとに考えている。 (ノート) (関) 進んで音読したり読み取ろうとしている (観察) 			<ul style="list-style-type: none"> ・続きを音読する (p85 5行目～3段落最後) ・ごんは兵十にどんなことをしたか、書いてあるところにサイドラインを引く (時間があれば、ノートに書く) ～いわしを投げ込む ～くりを拾って持って行く ～松たけを持って行く ☆いわしや松たけについて補足説明する (大きさ、特徴など)
				<ul style="list-style-type: none"> ・ごんの気持ちを表す「つぐない」の意味を確かめ (国語辞典)、ノートに書く

<p>・登場人物の気持ちや様子が表れている言葉に感情をこめて音読する ☆読み方を聞き、より感情が表現できるようアドバイスする (関) 進んで音読したり読み取ろうとしている (観察)</p> <p>・次に学習する場面を確認する (4段落)</p>	<p>・ごんのしたことや、気持ちを表す言葉に感情をこめて音読する ☆読み方を聞き、より感情が表現できるようアドバイスする (関) 進んで音読したり読み取ろうとしている (観察) (読) 場面や登場人物の様子をとらえたり、様子をもとにごんの心情を考えている (ノート)</p> <p>・次に学習する場面を確認する (4段落)</p>
--	---

7. 本時の評価

- 3年生 女の子と母親の姿やそれを見るおにたの様子や気持ちを読み取ることができたか
4年生 つぐないをするごんの様子や気持ちを読み取ることができたか

授業を实践しての資料

* 児童の読み取り

(3年生)

女の子

「はっとしたようにくちびるをかみました」

～本当はおなかはずいている

おにた

「せなかがむずむずするよう」

「じっとしてられなくなりました」

～女の子に、食べさせてあげよう

(4年生)

ごん

「おれと同じ、ひとりぼっちの兵十か。」

～これから兵十は、一人でらせるのかな。

～うなぎをとってしまったから、ちょっと悪いことしたな。

～ひとりぼっちでさみしくないのかな。

～ぼくだけひとりだと思っていたけれど、兵十もぼくとなかまだな。